

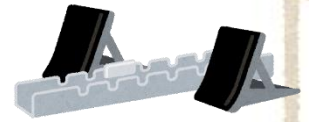
図書館だより ティーンズ版

令和6年秋号

京都市久世ふれあいセンター図書館
(公財)京都市生涯学習振興財団



スポーツの秋



猛暑の夏が終わり、訪れる秋は、スポーツを楽しむのに、心地よい、快適な季節です。

そんな「スポーツの秋」に送る「図書館からのおすすめ本」のテーマは、スポーツの基本中の基本「走る」です。



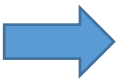
くぜふれあいこちゃん

走るなら、あなたはどっち派？

短距離

長距離

選んだら、次のページへGO!



短距離

『ヨンケイ!!』 あまさわ 天沢 夏月／著 ポプラ社 ▶

チームメイトのこと知らずに、本物のリレーなんてできねえよ。
東京・伊豆大島にある渚台高校の陸上部は、男子部員が4人だけ。インターハイ予選まで4か月を切った頃、「4×100mリレーをやってみませんか」という顧問の佐藤先生の提案で、練習を始める。メンバー4人それぞれの「走る」ことに対する思いは様々で、チームとしての一体感も不十分。当然、リレーの要であるバトンパスもぎこちない。そして1か月が経ったころ、ついに第一走者の受川は、息の合わない第二走者の雨夜にキレてしまい…。



◀ 『ギソク陸上部』 はく 山下 白／原案 舟崎 泉美／著 学研プラス

12秒台。僕の……僕の右足があったときのベストタイムよりも速い。
中一の春、成瀬颯斗はやとは、練習中に感じた足首の痛みがガンの一種・ユーイング肉腫と診断され、右足をひざ下から切断することに。学校で、義足を付けた颯斗に向けられる視線に耐え切れず、陸上部の仲間たちを避けるようになる。しかし、走りたいという気持ちはなくなるどころか強まる一方。そんなとき、義足技士の先生から、パラアスリート競技会に誘われる。そこで健常者以上の速さで走るパラアスリートの姿を見た颯斗は…。

長距離

『あと少し、もう少し』 瀬尾 まいこ／著 新潮社 ▶

絶望的で悲惨。おれの中学校最後の駅伝は、最悪のスタートを切った。
毎年開催される駅伝大会に必要なメンバーは6人。しかし市野中学校の陸上部で長距離走をやっているのは3人だけ。陸上のことは何もわからない上原先生が顧問になったことで、残り3人の勧誘は、部長の柵川に任せられた。柵川の必死の説得で、札付きのヤンキー大田、吹奏楽部の渡部、バスケット部のジローの3人が加わり、メンバーが揃う。しかし、エースの柵川自身の調子がなかなか上がらないまま、大会が迫ってきて…。



◀ 『サイド・トラック 走るのニガテなぼくのランニング日記』
ダイアナ・ハーモン・アシャー／作 武富 博子／訳 評論社

ほかのだれのものでもない、じぶんだけのベストをめざすのよ。
ADD（注意欠陥障害）のジョセフは、レイクビュー中学校の1年生。ひよろひよろで、走るのが遅い。ある日、先生から、新しくできた陸上チームに入ってみないかと誘われる。気乗りしないものの、断る理由も見つからず、練習に参加したジョセフだが、周りに気を取られ、グラウンドを一周するのもひと苦労。これじゃ2400mのクロスカントリー走なんか無理だとあきらめてしまいそう…。

「走る」を究める!



◀ 『99%の人が速くなる走り方』

平岩 時雄／著 筑摩書房／ちくまプリマー新書

どんなスポーツでも、基本にあるのは「走る」こと。あまりに基本的なことなので、ちゃんと教えられないまま、自己流で走っていませんか？

運動の好き嫌いも、センスの有無も関係ない、トントントンと跳ねるように走る「バウンスング」と、「走る」3つの局面（スタート・加速・スピード維持）に合った走り方で、本当に足は速くなる！

ティーンズコーナーに入った新しい本

『幽霊を信じない理系大学生、霊媒師のバイトをする』

いすかり ゆば
柞刈 湯葉／著 新潮文庫 nex ▶

私は幽霊を信じていない。ただ、その霊媒師を信じていたんです

100歳で大往生した曾祖母そうそぼの友人と名乗る鵜沼うぬまハルの職業は霊媒師。大学1年生の谷原豊は、弔問に来たハルから「私の手伝いをして見ないか？」と持ち掛けられる。「霊が見えなくても、信じていなくても構わない」と言われ、とりあえず実際の仕事を見てから決めることに。そして向かった「慰霊」の現場で、ハルに橋の上から浮き輪を投げろと指示されるが…。こうして、霊媒師ハルを胡散臭く思いつつも、その仕事を手伝う豊の大学生活が始まった。



そのほかにも

- ☆ 『ネットはなぜいつも揉めているのか』 津田 正太郎／著 筑摩書房
- ☆ 『高校生からのキリスト教入門事典』 高尾 利数／著 東京堂出版
- ☆ 『13歳からの自分の心を守る練習』 谷本 恵美／著 PHP 研究所
- ☆ 『国際学科高校 中学生のキミと学校調べ』 木村 由香里／著 ペリかん社
- ☆ 『真実の口』 いとう みく／著 講談社
- ☆ 『透明なルール』 佐藤 いつ子／著 KADOKAWA
- ☆ 『京都梅咲菖蒲の嫁ぎ先 2 百鬼夜行と鶴の声』 望月 麻衣／著 PHP 研究所
- ☆ 『6 days 遭難者たち』 安田 夏菜／著 講談社
- ☆ 『冬期限定ボンボンショコラ事件』 米澤 穂信／著 東京創元社

などなど、新しい本がたくさん入っています！

京都市久世ふれあいセンター図書館



■開館時間

平日（木曜除く）・土曜・日曜・祝日：午前9時30分～午後5時

木曜：午前11時30分～午後7時（祝日除く）

※児童だけの利用は午後5時まで

■休館日

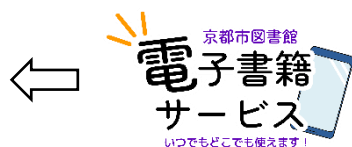
毎週火曜日（火曜日が祝日の場合はその翌平日）、年末年始

住所：〒601-8203 京都市南区久世築山町328 久世ふれあいセンター1階

電話：075-931-0035 FAX：075-931-0026



久世ふれあいセンター図書館
←ホームページはこちら



ホームページと
電子書籍サービスも
チェックしてね!



パスワードの登録はお済みですか？

図書館カードをお持ちの方は、パスワードを登録していれば、ご自宅のパソコンやスマートフォンからも予約や延長ができたり、電子書籍も利用していただくことができます。詳しくは、図書館のカウンターにて職員にお尋ねください。